

新幹線プレス 	2024年9月17日	No.679
	発行者	伊藤 一也
	編集者	教宣部
	JR東海労新幹線地本	

真実から目を背けた答申 「除名」処分を許さない！ 集会で組合員から怒りが噴出！

9月12日、JR総連の臨時大会でJR東海労の除名という不当な制裁決定がされました。本部は当日各地本の組合員の参加の下に「JR東海労の組織強化・拡大を勝ち取るための9.12集会」を開催し、不当な除名決定に断固抗議し、撤回を求めて闘うと共に、JR東海労に対する組織破壊を許さずこれまでと変わらず組織展望を切り拓く闘いを職場からつくりだしていくことを参加者全員で確認しました。

新幹線地本の参加者の発言を紹介します。

- ◆「二重加盟は認めない」と何度も繰り返されているが、なぜ認められないのかの理由はほとんど明らかにされていない。
- ◆JR東海労の中にも総連を支持する組合員がいるなどと言われていたというが、総連はJR東海の職場でどういう闘いをやるというのか？東労組は会社の攻撃に対して闘いを放棄している。北海道も貨物も主な課題は会社の存続の取り組みだ。
- ◆JR東海労を結成し苦労して会社と闘ってきた仲間のためにこれからも職場から闘っていく。
- ◆東労組は乗務中のイヤホン着用で懲戒免職になった組合員を「不祥事だから守れない」と言っている。除名のためのシナリオがあって「二重加盟は認めない」という理屈が言われているのだ。

JR東海労はこれからも変わらず職場からの闘いを続けます